

伊方町議会第80回定例会に係る一般質問通告内容

質問者	質問の大綱	質問の相手
田村 義孝 議員	1 「避難行動要支援者の個別避難計画」について	町 長
質問の要旨		
<p>災害時に自力での避難が困難な高齢者や障がい者などの「避難行動要支援者」への支援は、地域社会全体で取り組むことが重要であります。</p> <p>具体的には、伊方町が作成している「避難行動要支援者名簿」を活用し、平常時から地域の関係者と情報を共有することで、災害時の迅速な避難支援や安否確認が可能となります。</p> <p>現在、名簿の作成は伊方町が、要支援者の情報を収集し、名簿を作成していると思っておりますが、情報の提供として作成した名簿を、地区会や児童民生委員、消防団などの避難支援関係者に提供し、平常時からの見守り活動や防災訓練に活用していることと思っております。</p> <p>また、避難支援体制の構築として、地域の関係者が連携し、要支援者ごとの個別避難計画を策定することを自主防災会長あてに、毎年、促していると思っております。これにより、災害時の円滑な避難支援が可能となります。避難行動要支援者への支援は、町や地域コミュニティの連携が不可欠です。具体的には、避難経路、支援者の役割分担、連絡方法などを明確にし、本人や家族とも共有することが大切です。</p> <p>しかしながら、全自主防災組織から個別避難計画が、かえってきていない現状があるようにお聞きしております。</p> <p>どの組織もそうですが、役員さんの高齢化も激しくできることに限りもあり、ご近所の関係も希薄になりつつあったりと様々な問題もあることから、なかなか難しいとは思いますが、実施している町内の防災会もあります。</p> <p>まずは、自主防災会長さんに「避難行動要支援者支援」の重要性をより理解いただくために、講習会などを受けていただく必要があると思っております。</p> <p>計画の作成にあたっては事務仕事不得手な方もいらっしゃるでしょうから、地区連絡員制度を活用してお手伝いをしていただいたらどうでしょうか。そして、9月の町の防災訓練へも避難行動要支援者と家族の承諾が得られれば、避難行動要支援者と支援者が共に参加し防災訓練を実施することにより、実際の避難行動をシミュレーションし、課題を洗い出し、改善策を検討することができると考えます。</p> <p>情報の適切な管理と共有のためには、名簿の情報は個人情報であるため、適切な管理が求められますので、情報漏洩防止のための研修や、情報提供先との誓約書の取り交わしなどを行い、信頼関係を構築することも重要かと思っております。</p> <p>地域全体で共助の意識を高めるため、地域住民への啓発活動として、避難行動要支援者支援の重要性を周知する活動も重要だと思っております。具体的には、地域での集まりや広報誌での情報発信などが考えられます。</p> <p>これらの取り組みにより、避難行動要支援者名簿を効果的に活用し、地域の共助体</p>		

制を強化することで日頃からの準備と連携が、災害時の被害軽減につながると考えますが、町長のご所見をお聞かせください。

また、現在、町内でお手本となる自主防災組織や方法があれば、ご共有いただきたいと思います。